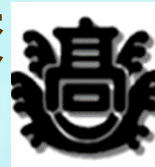




筑波大学附属駒場中・高等学校

灘中・高等学校 合同



～福島に来て、学び、考える！ふくしま「学宿」～

2018年1月4日(木)～6日(土) 2泊3日



このツアーは「各分野で復興に向け挑戦する福島の人々（ヒューマン）との対話」と「福島のありのままの姿（光と影）」に焦点を当てた学びのツアーです。震災・原発事故直後から現在に至るまでの復興の歩みや復興に向け奮闘を続ける人々の生の声を参加者の皆様に感じてもらいます。

ツアーを通じ福島の現状について理解を深めることは勿論、震災・原発事故の教訓をこれからの日本・地域や自分自身の未来にどう活かすのか、ぜひ考えてください。

来て

フィールドパートナー

前川 直哉 (まえかわ なおや) さん

(一社) 福島学びのネットワーク 理事・事務局長

1977年 兵庫県生まれ。灘高校3年在学時に阪神・淡路大震災で被災。東京大学教育学部卒。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。灘中学校・高等学校教諭（地歴・公民科）在職時に起こった東日本大震災と原発事故後、生徒とともに福島・宮城の被災地域を訪れる「東北訪問合宿」を実施。2014年3月に同校を退職し、4月より福島県福島市に転居。県内の子供達の学習支援を行う「(一社)福島学びのネットワーク」を設立。理事・事務局長に就任。

福島県観光交流課・(公財) 福島県観光物産交流協会

◆集合場所・集合時間

郡山駅西口 観光・送迎バス乗降場

11:25 集合

(集合時間には余裕をもってお越し下さい)

運行バス会社：福島観光自動車株式会社



1日目 1/4 THU

- 11:30 郡山駅 (貸切バス) 発
- 12:15 三春町・福島県環境創造センター 着
 - HM① 谷垣実さん
 - 研究棟・交流棟の見学/昼食
- 14:45 福島県環境創造センター 発
- 15:30 葛尾村・村民会館 (講話) 着
 - HM② 下枝代表
- 16:30 葛尾村・村民会館 発
- 17:45 楡葉町・展望の宿天神 (宿泊) 着
 - 18:30~19:30 夕食
 - 19:30~21:00 振り返り

2日目 1/5 FRI

- 08:30 楡葉町・展望の宿天神 発
- 09:00 富岡町・東京電力旧エネルギー館 (講話) 着
 - 東京電力職員
- 10:15 富岡町・東京電力旧エネルギー館 発
- 10:30 大熊町大川原地区・福島復興給食センター (講話) 着
 - HM③ 大熊町民 渡部千恵子さん
 - 大熊町民 大熊町じじい部隊
 - 給食センター見学
- 12:00 福島復興給食センター 発
- 12:10 大熊町大川原地区・大熊食堂 (昼食) 着
- 13:00 大熊食堂 発

大熊町じじい部隊

町内の大部分が帰還困難区域に指定されている大熊町において、独自に町のパトロールなどを行っている。主要メンバーは全員60歳以上の元役場職員であり、住民の帰還に向けた活動を行っている。

福島県環境創造センター

環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育旅行、交流を行う総合的な拠点。
交流棟(愛称:コミュタン福島)は、放射線や環境問題を理解し、環境の回復と創造への意識を深めるための施設。
研究棟は、日本原子力研究開発機構(JAEA)及び国立環境研究所(NIES)が調査・研究を行う施設。



HM① 谷垣実 (たにがき みのる) さん

京都大学 原子炉実験所 助教 博士 (理学)

専門は原子炉や加速器で作った不安定核ビームを使っての原子核構造や物性研究、加速器や物理計測機器の制御など。東電福島事故に伴う広範囲の放射性物質による汚染を迅速に把握するため、事故直後に専門分野の知識を活用してKURAMA/KURAMA-IIを開発、その活用と展開を進めている。今回は、実際に(KURAMA-II)のデモンストラーションと発明者の谷垣氏より直接説明をいただく。



HM② 下枝 浩徳 (したえだ ひろのり) さん

一般社団法人葛力創造舎 代表理事

震災を機に故郷の福島県にUターン。震災と過疎化による葛尾村の人手不足問題を解消すべく支え合いの精神「結」をヒントに活動中。地域コミュニティの再構築のため地域と首都圏を結ぶ交流イベント等にも力を入れている。



東京電力職員

福島第一原子力発電所の廃炉進捗状況や東京電力福島復興本社の復興に向けた取組、廃炉や復興に向けた思いについて率直に語る。

福島復興給食センター

福島第一原子力発電所の廃炉作業に従事する方々へ「温かい食事」を提供したいという思いから、現場への給食事業を開始。「食」の力で廃炉作業の推進と、福島復興に貢献することを目的に設立。



HM③

渡部 千恵子 (わたなべ ちえこ) さん

NPO法人 大熊町ふるさと応援隊 理事長

定年退職後に「大熊町ふるさと応援隊」を設立。報道では伝えきれない町の様子を実際に見てもらい、町の復興支援や理解を深めるための町内を巡るバスツアーを実施している。

◆宿泊先

	ホテル名	住所・電話番号	アメニティ							医療機関
			タオル	浴衣	歯ブラシ	ドライヤー	リンス・シャンプー	ボディソープ	カミソリ	
1日目	展望の宿天神	福島県楡葉町大字北田字上ノ原27-29 ☎0240-25-3113	○	○	○	○	○	○	×	総合磐城共立病院 ☎0246-26-3151
2日目	双葉屋旅館	福島県南相馬市小高区東町1-40 ☎0244-32-1618	×	×	○	○	○	○	○	南相馬市立総合病院 ☎0244-22-3181

国道6号線の通過

一部が帰還困難区域を含む避難指示区域を通る道路。原発事故がもたらした現実を体感することができる。

なお、この区間（42.5km）を時速40kmで通過する場合、片道の被ばく量は、1.2 μ Svで、これは胸のレントゲン撮影による被ばく量の50分の1以下の値である（平成27年6月 内閣府原子力被災者生活支援チーム公表）。

浪江町立請戸小学校

浪江町請戸地区にある小学校。海岸から約300メートル、福島第一原子力発電所から約6キロの場所に立地。

請戸地区は津波により、請戸小学校や集会所など、ごく一部の建物以外は津波で流された。また請戸小学校も、一階の天井まで津波に襲われ半壊の状態となった。

南相馬市・消防・防災センター

東日本大震災の教訓を後世に残すために建設された施設。南相馬市の被害状況や災害対応等の記録、災害への対応・対策などを展示している。

<国道6号線（大熊町・双葉町通過）>

●帰還困難区域通過

- 14:00 浪江町・請戸小学校、浪江駅前 着（見学）
- 15:00 浪江町
- 16:00 南相馬市・消防・防災センター（講話・見学）着
- 南相馬市 消防署職員
- 17:00 消防・防災センター発
- 17:30 南相馬市小高駅前・双葉屋旅館（夕食・講話・宿泊）着
- 18:00～19:00 夕食
●19:00～20:00 振り返り
●20:00～21:00 HM④南相馬市立総合病院 及川院長



HM④ 及川 友好（おいかわ ともよし）さん

南相馬市立総合病院 院長

専門は脳神経外科。原発事故直後から福島第一原発の北23kmに位置する中核病院(230床)で副院長として奮闘。震災後は地域医療の立て直しに尽力している。



南相馬市 消防署職員

震災当時は学生だったが、震災をきっかけに消防署で働くことを決意。消防士になった想いや、震災当時の消防署の状況、消防士の活動内容を語る。

3日目

1/6 SAT

- 08:30 双葉屋旅館 発
- 09:20 飯館村（講話）着
- HM⑤二瓶直登さん、上田義勝さん
- 10:50 飯館村 発
- 12:00 福島市・コラッセふくしま（ワークショップ・昼食）着
- WSサポート：福島県立福島高校生
- 16:30 コラッセふくしま 発
- 17:00 福島駅解散



HM⑤ 二瓶 直登（にへい なおと）さん

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授

東北大学農学部卒、同大学大学院農学研究科修了。その後、東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻へ入学し、修了。震災後は福島県環境保全農業課で福島県の農産物に対する放射性物質の影響調査に携わる。

上田 義勝（うえだ よしかつ）さん

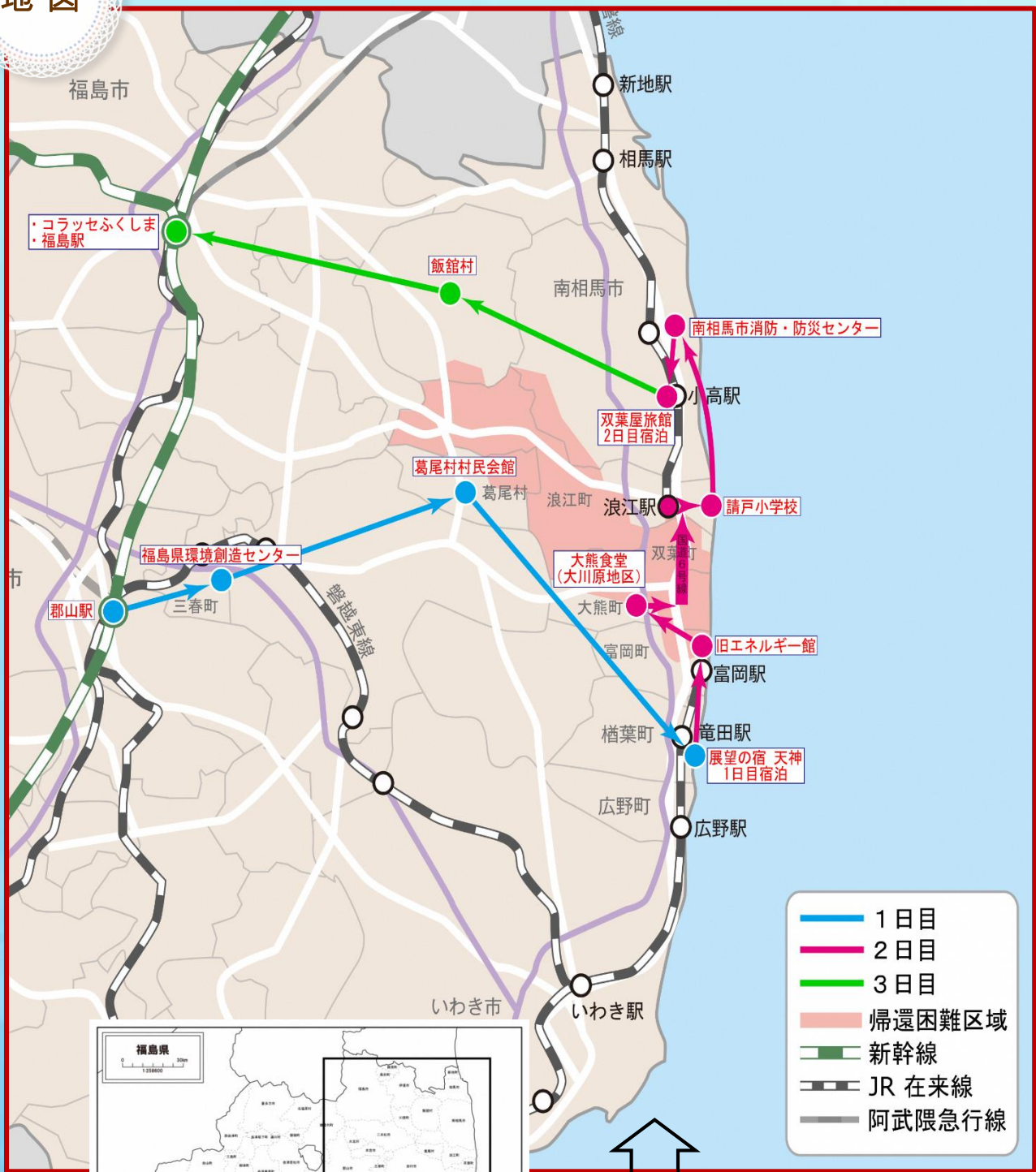
京都大学 生存圏研究所 助教 博士（情報学）

原発災害からの福島県農業の復興を目的とし、大学時代の友人である二瓶准教授とともに、福島原発近郊にて放射性セシウムで汚染された土壌の効率的な除染技術、及び、農作物への低吸収技術の実証実験、提案を行なっている。

◆注意事項

- ・悪天候に備え、雨具・防寒着等をお持ちください。
- ・皆様が安全で快適なバス旅行となりますよう、全席シートベルト着用にご協力ください。
- ・旅程表記載の時間は目安となります。道路の混雑状況により、帰着時間が遅れる場合もございますので、予めご了承願います。

地図



拡大

【旅行取扱】福島県知事登録旅行業第2-362号
 公益財団法人 福島県観光物産交流協会
 〒960-8053福島県福島市三河南町1番20号 コラッセふくしま7階 TEL 024-525-4060

12月28日17:30以降のお問合せは、☎090-3367-6833(小野寺)まで

Have a good trip!

